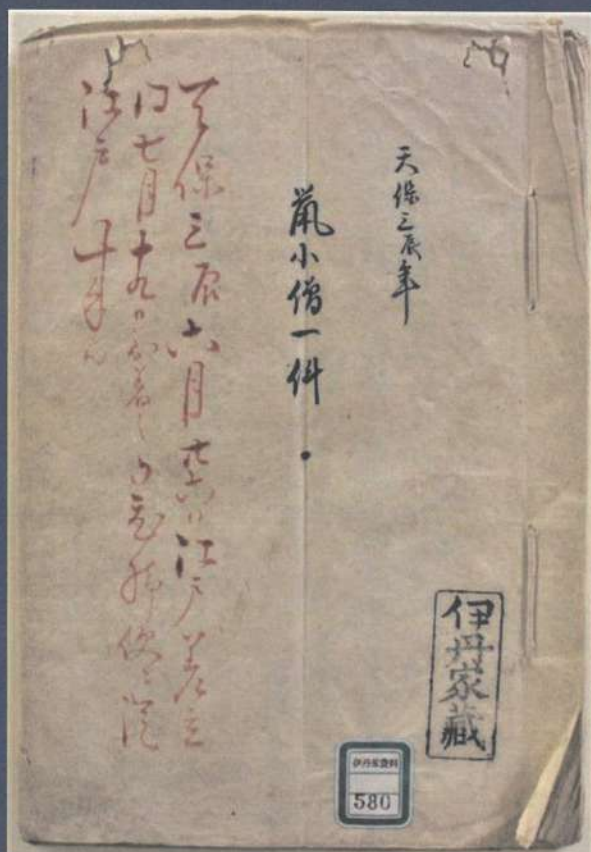


こもんじよ 古文書だより

第5号



鼠小僧一件（伊丹資料 580）当館所蔵

もくじ

令和7年度新収蔵資料

〈寄贈資料〉

- 入江寿紀収集資料（一） 2
- 遠藤栄雅資料（五） 2
- 脇山村史 3

〈マイクロフィルム収集資料〉

- 東長寺文書（六） 3

インフォメーション 4

令和7年度 収蔵資料パネル展
 ≪益富資料≫にスポットライト



令和7年度 収蔵資料パネル展

■アビスパ福岡創設30周年の軌跡

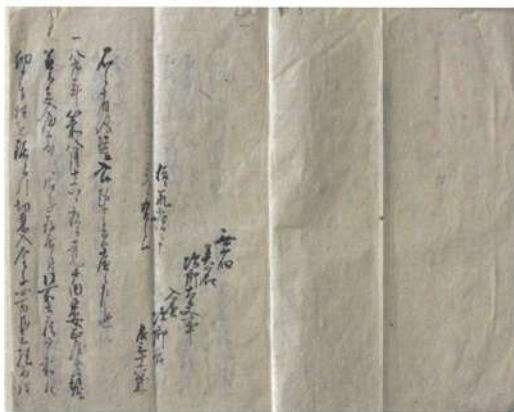
福岡市をホームタウンとするプロサッカー клуб「アビスパ福岡」が、令和7年(2025)に創設30周年を迎えました。それを記念して、当館が所蔵する「アビスパ福岡後援会資料」を活用して、クラブの歴史を振り返りました。

現在では貴重な福岡ブルックス(前身クラブ)のオフィシャルイヤーズブック、アビスパ福岡Jリーグ初勝利ステッカーなどをパネルで紹介し、2011年シーズン在籍選手サイン入りユニフォームの実物展示も行いました。

展示期間：令和7年9月6日～12月27日



展示風景



「鼠小僧一件」(冒頭)

■福岡まで伝わる「ねずみ小僧」の悪行

江戸時代に実在した誰もが知る大泥棒「ねずみ小僧」。彼の犯行履歴が記された「鼠小僧一件」【表紙・左写真】が福岡藩士伊丹家に伝来しています。

本資料は、天保3年(1832)5月に上野國小幡藩松平家の江戸屋敷で捕縛後に、北町奉行榊原忠之らの尋問に答えた自白調書「鼠賊白状記」(国立公文書館所蔵)と酷似しています。捕縛から2カ月後には、福岡まで情報が伝わっており、事件に関する関心の高さが伺えます。

展示期間期間：令和8年1月7日～3月29日

《益富資料》にスポットライト

■益富資料は、生月島を拠点として鯨組を営んでいた益富家に伝来した資料です。福岡藩との取引の記録も多く残されています。

■令和7年(2025)は、享保10年(1725)に益富組が捕鯨業を創業してから300周年にあたり、平戸市生月町博物館・島の館で、関連の企画展示とシンポジウムが開催され、益富資料が紹介されました。

【平戸市生月町博物館・島の館 企画展示】
 「生月島の漁業の発展」 会期：7月26日～10月13日
 「江戸時代に栄えた日本一の益富組捕鯨」
 会期：11月22日～令和8年1月12日

【同館 シンポジウム】
 益富組捕鯨創業300周年記念シンポジウム
 『益富組捕鯨の成り立ち』 開催日：11月29日



益富資料A237「筑前御用油仕出帳」
シンポジウムで紹介

■上の資料は、益富組が作成したもので、嘉永3年(1850)から安政3年(1856)までの益富組と福岡藩・秋月藩との間の書状などを中心に記した帳面です。

古文書だより第5号 発行日 令和8年(2026)3月31日
 編集・発行 福岡市総合図書館 文学・映像課 古文書係
 〒814-0001福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
 TLE 092-852-0634 FAX 092-852-0609 URL <https://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/>

本誌に掲載の画像は無断転載を禁じます。ご利用方法はこちら
[ホームページ「文書資料室」](#)



「古文書だより」の最新号やバックナンバーはこちら
[ホームページ「古文書だより」](#)

